

女川原子力発電所環境放射能調査結果（四半期報及び年度報） の訂正について

1 概要

今回報告する令和 6 年度女川原子力発電所環境放射能調査結果（年度報）をとりまとめている段階で、当該各四半期の報告内容を確認したところ、アラメの Cs-137 濃度の推移を示す図において、一部の測定地点が表示されていないことを確認した。このことを受け、令和 6 年度も含め、東日本大震災後に報告している東京電力(株)福島第一原子力発電所事故前後を含む平成 22 年度以降の図を調査した結果、同様の誤りが認められたことから、訂正するもの。

2 訂正内容

以下の四半期報及び年度報における、マガキ及びアラメの Cs-137 濃度の推移を示した環境モニタリング結果の図中、一部の測定地点が表示されていなかったため、別紙のとおり追記するもの。

（１）マガキの Cs-137 濃度の推移

測定地点	対象の報告書及びページ数等
気仙沼（対照地点）	平成 27 年度第 3 四半期報 22 ページ 図－2－23

（２）アラメの Cs-137 濃度の推移

測定地点	対象の報告書及びページ数等
(ア)周辺海域のみ	平成 28 年度第 2 四半期報 23 ページ 図－2－24
	平成 28 年度第 3 四半期報 23 ページ 図－2－26
	平成 28 年度第 4 四半期報 21 ページ 図－2－20
	平成 28 年度報 21 ページ 図－20
	平成 29 年度第 1 四半期報 21 ページ 図－2－20
	平成 29 年度第 3 四半期報 23 ページ 図－2－26
(イ)周辺海域及び 牡鹿半島西側 (対照地点)	令和 5 年度第 3 四半期報 25 ページ 図－2－30
	令和 6 年度第 2 四半期報 24 ページ 図－2－27
	令和 6 年度第 3 四半期報 25 ページ 図－2－30

3 原因

本事案は、調査対象の試料が欠測であった場合に加え、不検出（ND）の一部試料についても生じていた。

今回の原因は、欠測等が生じた際の表計算ソフトへのデータ入力方法が不適切であったことによるものであった。具体的には、グラフを作成する際、参照データの一つである測定日の項目欄に「欠測」等の文字列を入力したことによるもので、その結果、当該ソフトの機能上、入力データ列全体が無効として認識され、グラフが図中に表示されなくなったものであった。

四半期報等の資料の作成に当たっては、担当者と確認者の複数人により、報告用の測定結果の表と各測定機器より得られた測定データとを念入りに突合し、確認を行ったうえで確定しており、測定結果のグラフの表示についても、複数人で確認していたものの、当該四半期が欠測や不検出であった試料について、過去か

らの推移を含むグラフの表示の有無について確認が不十分であったもの。

4 測定結果の評価

当該四半期の環境試料中の放射性物質濃度については、本協議会資料「女川原子力発電所環境放射能調査結果」の「表－２－５ 環境試料の核種分析結果」において過去の測定値の範囲と合わせて示し、各四半期の協議会において測定結果の確認を頂いているものである。

一方、Cs-137 濃度の推移については、変動傾向を可視化するため、表－２－５と同じデータを用いて図を別に作成している。

今回の訂正は、欠測及び不検出を含め、既に協議会で確認頂いた測定結果を用いた図において一部のデータが反映されていなかったものであり、この訂正自体が評価に影響を与えるものではないと考えている。

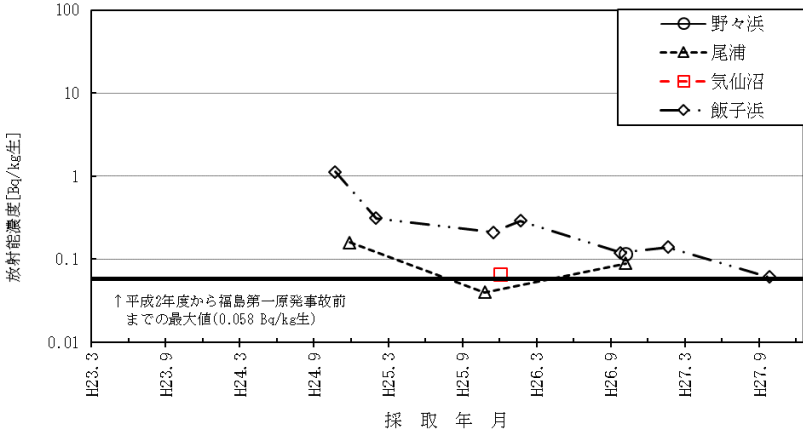
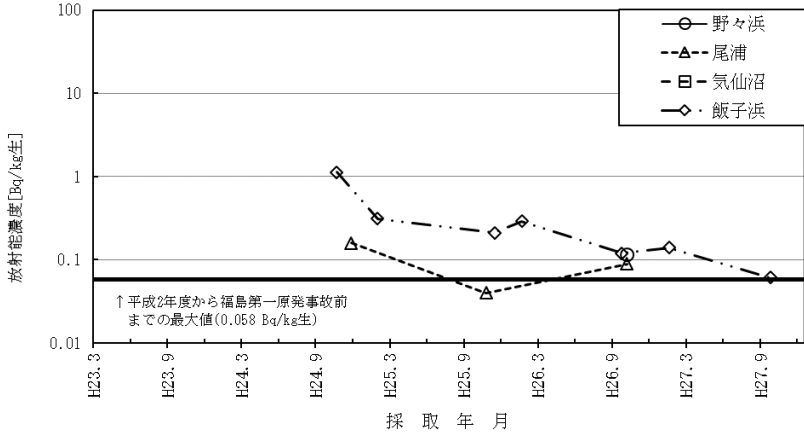
5 再発防止対策

データの不備を認知できなかったことは県の責任であるため、県として以下の対策を進め、県民への正しい情報の発信に努める。

今後は、グラフの作成に影響を及ぼさない方法により測定データを記録・管理する運用に改めるとともに、データ入力時の注意事項の周知徹底を図り、確実な引継ぎを実施することにより同様の錯誤の防止に努め、ヒューマンエラーの防止対策を徹底する。

(1) マガキの Cs-137 濃度の推移

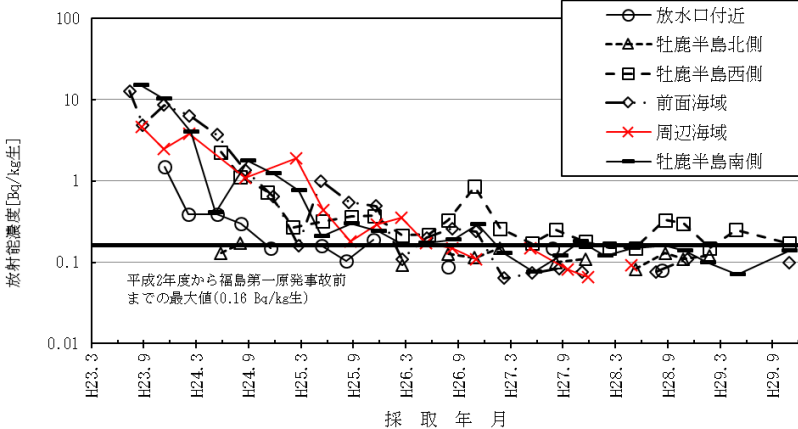
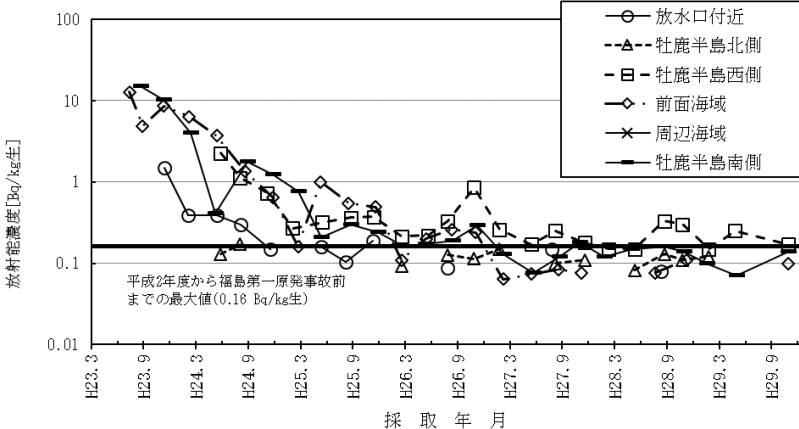
・平成27年度第3四半期報 22ページ 図-2-23

正	誤	備考
 放射能濃度[Bq/kg生] 採取年月 ↑平成2年度から福島第一原発事故前までの最大値(0.058 Bq/kg生) 図-2-23 カキのCs-137濃度の推移	 放射能濃度[Bq/kg生] 採取年月 ↑平成2年度から福島第一原発事故前までの最大値(0.058 Bq/kg生) 図-2-23 カキのCs-137濃度の推移	気仙沼を 示すも の。

(2) アラメの Cs-137 濃度の推移

ア 周辺海域のみ

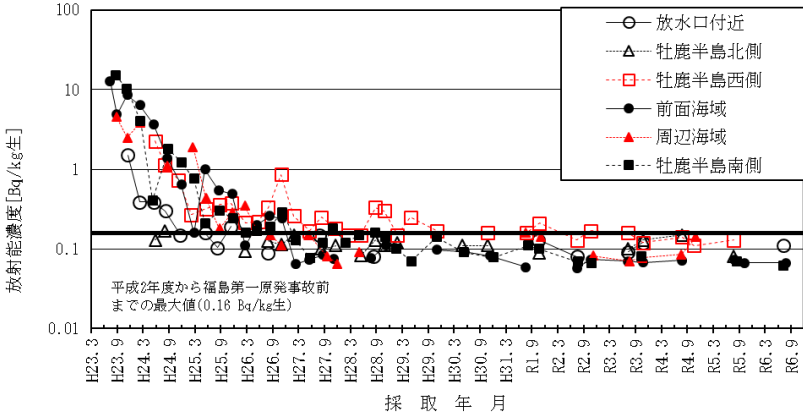
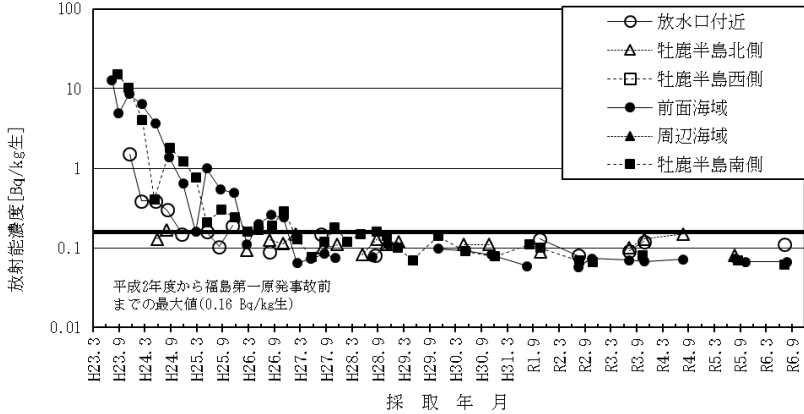
・平成 29 年度第 3 四半期報 23 ページ 図-2-26

正	誤	備考
 図-2-26 アラメのCs-137濃度の推移	 図-2-26 アラメのCs-137濃度の推移	周辺海域を 表示するも の。

※平成 28 年度第 2 四半期報 23 ページ 図-2-24、平成 28 年度第 3 四半期報 23 ページ 図-2-26、
 平成 28 年度第 4 四半期報 21 ページ 図-2-20、平成 28 年度報 21 ページ 図-20
 平成 29 年度第 1 四半期報 21 ページ 図-2-20 も同様。

イ 牡鹿半島西側及び周辺海域

・令和6年度第3四半期報 25ページ 図-2-30

正	誤	備考
 図-2-30 アラメのCs-137濃度の推移	 図-2-30 アラメのCs-137濃度の推移	牡鹿半島西側及び周辺海域を表示するもの。

※令和5年度第3四半期報 25ページ 図-2-30、令和6年度第2四半期報 24ページ 図-2-27も同様